

2020年度



学校だより

皐月
5月号
NO. 2



令和2(2020)年5月1日発行

〒564-0038 吹田市南清和園43番1号 TEL6382-6831

新型コロナウイルス問題を乗り越える

校長 田淵 久美子

夕刻になると、くさぶえ(留守家庭児童育成室)が終わり、家へ帰る子どもたちの声が、校長室の窓越しに聞こえてきます。もちろん、職員室からも聞こえます。・・・風情があるな・・・なんて、絶対思えません。**平時ではないのだ!**この瞬間毎日そう感じています。子どもたちの気配を感じることは嬉しいことです。しかし本来、学校の夕刻は、先生たちが子どものことを語り合っている声・明日の授業について話している声、そして印刷をしたり、教材を作っている音が飛び交っていて、外で話す2.3人の声は聞こえません。それが何だか悔しいのです。昼間は子どもたちの声で活気があり、夕刻は大人たちの集団でパワー満載。それが吹六小です!

《 今は、平時ではない 》

マスクの着用・対人との距離・外出への自粛・在宅勤務・休業要請・静かなゴールデンウィーク・3密NG・・・誰もが味わったことのない時間をたたかっています。在宅勤務もできない職業の方もいらっしゃいます。きっとご家庭でも様々な問題を抱え、乗り越えようとたたかっておられるはず。では、「**学校は何ができるのか**」

《 子どもファースト 》

「平時ではない」からこそ、学校は慌てず原点に戻り「**子どもファースト**」で、教育活動を考えます。子どもの視点にたった新型コロナウイルス問題は「学び」「心のケア」そして「体力」です。中でも「学び」については、今後も臨時休業が長引くようであれば、最優先です。



- 学び — 国語・算数を中心とした「基礎学力」からはじめます。
- 心のケア — 今は「チーム吹六保護者」に頼らせてください。
(参考資料の情報提供はします)
- 体力 — 吹六っ子自身の持っている素質に期待して、今は温存。

教職員が8割在宅勤務の中で、子どもたちへの学習支援を何とか実施しようとしていますので、きっと不具合等、生じてくるかもしれません。それでも学校ができること、やらなくてはいけないことを続けていきたいと思えます。

今こそ、子ども・保護者(地域)・学校が「ワンチーム」となってコロナを乗り越えましょう!
右のページに続く →

「当たり前」からの脱出



今年度から新学習指導要領の完全実施をするため、意気込んでいました。出鼻をくじかれましたが、完全実施には変わりはありません。「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けた教育方針と、変わる教育活動の説明も含めて、昨年のように日曜参観日にさせてもらう予定でした。が、**1学期の日曜参観日は中止**にします。同日、実施していた**引き渡し訓練も中止**です。

教育方針・教育活動の説明（お知らせ）は違う形で行います。

これまでの学校の「当たり前」を変えていく柔軟さが必要です。もっと言えば、「変えるとき」だと感じています。

3月に挙行した卒業式は、ぶっつけ本番で、集中力のかたまりだった子どもたちは立派な態度でした。今までは、証書の受け取り方・歩き方等、何時間か練習していたのです。何のための、誰のための卒業式なのか、考えるきっかけになりました。「**当たり前**」からの脱出です。

5月11日（月）学校が再開すれば、給食開始は5月18日（月）です。学校再開の方法は、また一斉メール「ミマモルメ」やホームページでお知らせします。

一斉メール「ミマモルメ」の100%登録をめざしています。ご協力よろしく願います。また、アドレスを変更されると再登録が必要です。

《2000円分の図書カードでどんな本を購入しますか？》



吹六小の先生たちにインタビューしました。

「子どもの頃、読んでた本は何ですか」「好きな本は何ですか」

『小公子』『小公女』
イソップ童話やアンデルセン作品等、世界の名作

『15少年漂流記』

『ぼくらの7日間戦争』
アーノルド・ローベルの作品

『僕を探しに』
『大きな木』

『オズの魔法使い』
『彦市とんちばなし』

サバイバルシリーズ

科学・サイエンス系
空想科学読本キッズ向け

『車のいろは空のいろ』
『からすのパンやさん』

『1年生』

『銭天堂』『クレヨン王国』
『いちご』推理小説系

『ぐりとぐら』『バムとケロ』『こんとあき』
『ぐるりんぱの幼稚園』『わたしのワンピース』
『はじめてのおつかい』

『ロビンソン・クルーソー』

いろんな本が登場しました。絵本もありますね。知っている本はありますか。個性あふれるバラエティに富んだ本がそろいました。みなさんも、素敵な本との出会いを楽しんでくださいね。

『100万回生きたねこ』